

弱溶剤2液形ポリウレタン樹脂防塵床用塗料

クリンカラーU ファイン

旧塗膜を選ばず、塗り替えにも適した床用塗料

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

あのファインウレタンが「床用」になりました!!

CLEAN COLOR U FINE



7つの特長

- ①あらゆる塗膜に
- ②環境配慮
- ③高耐候性
- ④抜群の作業性
- ⑤低臭性
- ⑥すぐれた耐久性
- ⑦安全性

ほとんどの旧塗膜のうえにプライマーなしで塗装できます。
※プライマーが必要な場合もあります。

弱溶剤形なので、従来に比べ、環境にやさしい塗り床材です。
耐候性がよく、外部にも適用できます。

塗装作業性にすぐれています。

一般溶剤形ウレタン樹脂系と比べ、臭気がマイルドです。

耐水性・耐アルカリ性・耐薬品性にすぐれています。

建築基準法に適合しています。

写真はイメージであり、商品とは無関係です。

NIPPON PAINT CO.,LTD.

塗料用シンナーで希釈ができる2液形床用ウレタン樹脂塗料



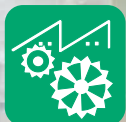
クリンカラーU ファイン

塗料用シンナーで希釈ができるので、

臭気がマイルドで塗装作業性がすぐれています。

耐候性、光沢保持性が良好で、耐水性、耐アルカリ性、耐薬品性にもすぐれ、ほとんどの旧塗膜のうえにプライマーなしで塗装が可能です。

用途（屋内外用）



一般工場



機械室・電気室



倉庫・配送センター



事務室・教室



食堂



店舗・事務所



通路・廊下・階段



コンクリート駐車場（屋内外）



屋外施設

用途別適合表

施工場所		評価	施工場所		評価
工場・倉庫	一般工場	○ ^{※1}	学校・病院 道路 駐車場	教室	○
	食品工場	△ ^{※2}		研究室・実験室	—
	化学薬品工場	△		病院	△
	重機械工場	—		通路・廊下・階段	○
	機械室・電気室	○		屋内駐車場	○
	倉庫・配送センター	△		屋外駐車場	○
	クリーンルーム	—		屋外施設	○
会社・店舗	一般事務室	○	テニスコート		—
	食堂	△ ^{※2}	ベランダ		○
	店舗・事務所	○	アスファルト床面		—

※1 重機械や大型車両などが通過する場所では、塗膜の摩耗が激しいため、適しません。

※2 常時、水に浸かる可能性のある場所、または下から（塗膜の裏面から）水分が回る場所には、クリンカラーエレジモルクリヤー（新）を使用した塗装仕様で塗装してください。
食品類への臭い移りや養生期間に十分にご注意ください。

常備色

注）ライン用エローホワイトは4kgセット対応です。
※印刷につき、実際の色とは異なります。



CB1 ダークグリーン



CB7 バフ



CB2 グリーン



CB8 ベージュ



CB3 フレッシュグリーン



CB9 グレー



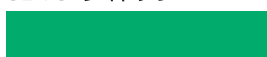
CB4 ウイローグリーン



CB10 ライトグレー



CB5 ライトブルー



CB15 ライトグリーン



CB6 レッドブラウン



CB23 アイボリー



ライン用エロー^{注)}



ライン用ホワイト^{注)}

塗膜評価

評価項目	評価基準	評価
耐摩耗性	摩耗に対しての総合評価	○
硬度	塗膜が硬く、摩耗に強い	◎
膜厚	膜厚があり、摩耗に強い	○
耐水性	水分に強い	◎
耐薬品性	酸・アルカリなどに強い	○
耐油性	油分に強い	◎
耐候性	紫外線に対して強い	◎
作業性	作業しやすい	◎
乾燥性	塗装後の養生期間が短い	○
臭気	臭気が少ない	○
溶剤種別	—	弱溶剤

※）評価基準は、相対的な比較であり、絶対値ではありません。

※）用途別評価は、「使用状況・目的」に沿って想定した場合の目安評価です。

塗料性状（ニッペクリンカラーU ファイン）

		容量	色	光沢	密度 (g/cm ³) (23℃)	引火点	発火点	消防法表示			有機溶剤 区分	有害物表示
								化学名	危険物区分	危険等級		
ニッペ クリンカラー Uファイン	塗料液	13.5kg 3.6kg	各色 ^{注)}	つや 有り	1.13 (混合液) 〈淡彩〉	39℃	210℃ (参考値)	合成樹脂 エナメル塗料	第2石油類	Ⅲ(火気厳禁)	第3種等	※色相により、法定表示 内容が異なります。
	硬化剤	1.5kg 0.4kg	茶褐色 透明			39℃	454℃ (参考値)	合成樹脂 クリヤー塗料	第2石油類	Ⅲ(火気厳禁)	第3種等	イソシアネート含有

注) 小缶(3.6kg)塗料液はカタログに掲載されているCB常備色以外は対応しておりません。また、ライン用エローおよびライン用ホワイトは小缶(3.6kg)塗料液のみの対応となります。

性能表 (JIS K 5970に準拠) ■弊社社内試験による

試験項目	規 格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様である	合格
塗 装 作 業 性	塗装作業に支障があってはならない	合格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
耐 摩 耗 性	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下	22
耐 衝 撃 性 (デュボン式)	衝撃による変形で塗膜に割れ、はがれを生じないものとする	合格
耐 水 性	6時間水に浸したとき異常がない	合格
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	6時間アルカリに浸したとき異常がない	合格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆:0.12mg/L以下	合格
60度鏡面光沢度	70以上である(社内規格)	83
硬 度	F以上である(社内規格)	H
軽歩行可能時間	24時間以内/23℃(社内規格)	6時間

※) 塗装後のフォークリフト走行可能時間は3日/23℃以上です。

※) ニッペファイン/浸透シーラーについての詳細については、専用カタログをご参照ください。

標準塗装仕様

	仕 上 げ	塗装工程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
新設コンクリート床の場合	防 滑 仕 上 げ	素地調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製 Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に除去してください。 ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。 具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
		下 塗 り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2 ^{※1}	0.16~0.20	4時間以上5日以内	———	ローラー
		上塗り①	ニッペクリンカラーUファイン	1	0.13~0.17	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー
		骨材散布	上塗り①塗装直後に硅砂6号あるいは硅砂5号を50~300g/㎡を適量散布する。乾燥後余分な硅砂は、除去、清掃する。					
		上塗り②	ニッペクリンカラーUファイン	1	0.17~0.21	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー
	平 滑 仕 上 げ	素地調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製 Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に除去してください。 ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。 具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
		下 塗 り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2 ^{※1}	0.16~0.20	4時間以上5日以内	———	ローラー
		上 塗 り	ニッペクリンカラーUファイン	2	0.13~0.17	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー

※) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
※) 下地コンクリート表面のぜい弱部、レイタンス、油などは付着不良になりますので十分に除去してください。
※) 下塗りとしてニッペファイン/浸透シーラーの代わりにニッペクリンカラー/バフルプライマーまたはニッペクリンカラーWエポキシ速乾プライマーも使用可能です。
※) カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されています。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。
※) シーラーは、ぬれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込みがある場合は、その部分を増し塗りしてください。

	仕 上 げ	塗装工程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
改修床の場合	防 滑 仕 上 げ	下地調整	はがれかかった既存塗膜は完全にケレン除去する。ケレンによってコンクリート地肌が出た場合はあらかじめニッペファイン浸透シーラーを補修塗る。ごみ、ほこり、油分などは除去し清浄な面とする。表面のワックスは水性ワックス用はく離剤でよく離してから水洗いを十分に乾燥する。具体的な下地処理方法についてはニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
		上塗り①	ニッペクリンカラーUファイン	1	0.13~0.17	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー
		骨材散布	上塗り①塗装直後に硅砂6号あるいは硅砂5号を50~300g/㎡を適量散布する。乾燥後余分な硅砂は、除去、清掃する。					
		上塗り②	ニッペクリンカラーUファイン	1	0.17~0.21	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー
	平 滑 仕 上 げ	下地調整	はがれかかった既存塗膜は完全にケレン除去する。ケレンによってコンクリート地肌が出た場合はあらかじめニッペファイン浸透シーラーを補修塗る。ごみ、ほこり、油分などは除去し清浄な面とする。表面のワックスは水性ワックス用はく離剤でよく離してから水洗いを十分に乾燥する。具体的な下地処理方法についてはニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
		上 塗 り	ニッペクリンカラーUファイン	2	0.13~0.17	4時間以上	塗料用シンナーA (5~15%)	ローラー

※) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。
※) 旧塗膜にははがれがある場合はあらかじめ部分補修を実施し段差修正してください。
※) 下地が弾性塗り床の場合は塗り替え適用できません。
※) 旧塗膜が不明の場合は、必ず試験施工を行ってください。
※) 塗り替えの場合でも、旧塗膜の劣化状態や付着状況、使用環境などによりプライマーが必要な場合があります。
※) 塗装後の軽歩行可能時間は6時間以上、フォークリフト走行可能時間は3日以上(23℃)が必要です。
※) カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されています。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

塗装基準 (ニッペクリンカラーU ファイン)

混 合：2液形のため「塗料液/硬化剤=9/1(重量比)」に混合して十分にかくはんしてください。

ポットライフ：3時間(23℃)

希 釈 剤：塗料用シンナーA

塗 装 方 法	ローラー塗り
希 釈 率	5~15%
使 用 量 ^{注)}	0.13~0.17kg/㎡/回

注) 防滑仕上がりについては防滑仕上げ塗装仕様書をご参照ください。
※) 数値は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈により幅を生じ増減します。

乾 燥 時 間：

	5~10℃	23℃	30℃
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上	4時間以上	3時間以上

施工上の注意（詳細な内容については、製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 使用量は、塗料のみについての記載です。塗料の中に珪砂やウレタンチップを混合して防滑仕上げる場合に、混合する珪砂ウレタンチップの使用量は含まれていません。
2. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
3. ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分行い十分に乾燥後、塗装してください。
4. 厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
5. 旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
6. 軽歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
7. アスファルト面への塗装は、割れやにじみが発生するおそれがありますので避けてください。
8. 旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
9. 強化コンクリート、カラーコンクリート、フェロコン、ち密に仕上られた一般コンクリート・モルタル面へ施工の際は付着性向上のため、研削機を用いて下地表面を物理的に目粗ししてください。または、研磨紙(#40-80)で表面を目粗した上で、専用のプライマー(グリンカラー・パワフルプライマーに強化C添加液を加えたもの、またはグリンカラー-Wエポ速乾プライマー)をご利用ください。
10. 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
11. 常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、ニッペグリンカラーEレジモルクリヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
12. 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
13. 下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
14. 塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
15. 旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
16. シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2～3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
17. 塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げる場合は珪砂は沈殿しやすいので、かき混ぜながら塗装してください。
18. グリンカラー防滑骨材を配合した塗料はすみやかに使いきってください。長時間放置されますと骨材が沈殿もしくは浮いてきます。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて調合し、使い切りとしてください。
19. 施工に関する詳細な注意事項はグリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
20. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
21. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になり
22. ますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
23. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
24. 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
25. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないよう十分にご注意ください。
26. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
27. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
28. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
29. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
30. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
31. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
32. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
33. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
34. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
35. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
36. 薄めすぎは廻り力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
37. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
38. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
39. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
40. 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
41. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
42. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
43. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
44. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
45. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
46. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
●「ニッペグリンカラー」登録第1714383号は、日本ペイントホールディングス株式会社が権利者の登録商標です。
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索



カタログNo.
NP-C118

SS240702T
2024年7月現在